

# R.I.D 2550 TOCHIGI GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

2025.03

## Vol.9

Rotary 

記事をタップ  
ページにとびます



05

新入会員紹介

06

2025.06

主要行事予定

07

会員数報告

08

コーディネーター  
NEWS

09

コラム

01



02



ガバナー  
Message

03

GOVERNOR  
OFFICIAL VISIT

ガバナー  
公式訪問



江州屋(佐野市)

## 04 実施事業報告

- RLIパートIII研修会
- 地区職業奉仕セミナー
- 第1・第5・第6・第9 IM開催報告

ユネスコ無形文化遺産  
国指定重要無形民俗文化財  
鹿沼秋まつり彫刻屋台

「下材木町」



国際ロータリー第2550地区【栃木】2024-2025年度

My ROTARY | Rotary International



## THE MAGIC OF ROTARY

ステファニー・アーチックRI会長は、ロータリーのマジックを強調します。ロータリー会員はプロジェクトを完了するたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、マジック（魔法）を生み出しているとアーチック会長は述べます。

# 4つの テスト

<言行はこれに照らしてから>

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深める
- 4 みんなのためになるかどうか



## GOVERNOR MESSAGE

国際ロータリー第2550地区 2024-25年度ガバナー

**市田 登** 鹿沼ロータリークラブ



親愛なるロータリアンの皆様、寒い日が続きますが健やかに過ごしておりますか。野には福寿草も開花が始まり春はすぐそこまで来ています。さて、1905年にシカゴで創設されたロータリーでは、110年以上、さまざまな職業をもつ人や市民のリーダーが「世界を変える行動人」となり、その経験と知識を生かして社会奉仕活動や人道的活動に取り組んできました。識字率向上、平和構築、水と衛生の改善など、幅広い分野で持続可能な影響をもたらすために、ロータリーの会員は毎日、世界のどこかで活動しています。切迫した問題が山積みとなっているこの世界で、私たちは単なる傍観者ではなく、自ら行動する責任があると考えています。そしてロータリーが重点を置いて活動する項目の中に「平和の推進」があります。

先日ですが、RI第2540地区（秋田県）の男鹿ロータリークラブのニュースを、拝見しました。終戦間もない1945年8月28日、物資を搬送中のB29が男鹿市の加茂青砂地区上空を飛行中、霧で視界を失い本山に激突、原形がわからないほどに機体がバラバラになりました。地元の住民は総出で乗組員の捜索と救出に向かいました。乗組員12人のうち、ただ一人生きた状態で見つかった少年兵ノーマン・H・

マーチンさん（当時19歳）。当時の国民感情からすれば「敵国」の乗組員。複雑な心境の地元住民でしたが、当時小学校だった建物で手当てをしたそうです。のちに地元住民が「なんぼ敵であっても死にそうな人、かわいそうでやっぱり助けるのが人間でないかな」と語ったそうです。そして35年前の1990年、アメリカに戻ってからの消息が分かったマーチンさんを「男鹿ロータリークラブ」が、男鹿市の加茂青山に招きました。マーチンさんは地元住民と抱き合い、涙ながらに胸に宿していた感謝の思いを伝えました。そして「孫や子供たち、将来の世界の子供のために、日本もアメリカも戦争をせず、世界の平和が続くよう一緒に歩み続けなければならない」。関係者によりますとマーチンさんは2012年86歳で亡くなったそうです。35年前、男鹿ロータリークラブのご尽力で実現した「奇跡の再開」も、80年前のB29の出来事も、高齢化による当事者の減少、当時の事を後世に伝える慰霊碑の老朽化など、戦争の記録と記憶の風化が危惧されています。今年も終戦80年、慰霊と平和への思いを今一度見つめ直し、明るい未来に向けてロータリアンとして行動していきましょう。



# OFFICIAL VISIT

## ガバナー公式訪問

2024年10月29日

岩舟ロータリークラブ

会長 市村 隆 幹事 安藤 宣好

2024年10月29日(火)岩舟町商工会館にて、市田登ガバナー、橋本徳雄第6グループガバナー補佐、また鹿沼ロータリークラブより随行の川邊清地区副幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問が行われました。

まず初めに午後5時より会長幹事懇談会が実施され、現況報告書をもとにクラブの活動状況について、さらに、少人数クラブである岩舟ロータリーにとっては当面の大きな課題である会員増強についての意見交換が行われました。

岩舟ロータリークラブは現在の会員数は8名、小さなクラブだけにまとまりがあり、出席率も高いものの、他クラブのように大掛かりな活動ができない、また、会長・幹事の引き受け手が少ない等の課題があり、これら問題についてご意見を頂戴しました。

食事をはさみ、午後6時半より行われた例会におきましては、ステファニーAアーチックRI会長の方針や市田ガバナーの地区運営方針について卓話をいただき、とても有意義な時間を過ごすとともに、市田ガバナーの大変あたたかなお人柄に触れることができ

ました。

限られた時間ではありましたが、この度の公式訪問をもとに、今後もより有意義な活動ができるよう努力したいと考えております。

皆様、お忙しい中お越しいただき、誠にありがとうございました。







# OFFICIAL VISIT

## ガバナー公式訪問

2025年2月13日

### 鹿沼ロータリークラブ

会長 岩本 泰史 幹事 宇賀神 康明

2025年2月13日(木)鹿沼ロータリークラブ例会場:日晃そば様におきまして当クラブより輩出を致しました第2550地区市田登ガバナーをお迎えいたしましてガバナー公式訪問が執り行われました。

市田ガバナーにおかれましては昨年の7月22日佐野クラブより始まりました全47クラブのガバナー訪問の最後を締めくくるガバナー公式訪問となりました。

例会ではガバナー卓話としてロータリーのマジック等のテーマが無くなる、ロータリーも変化していく、3年計画となる。変わっていくもの、変えてはいけないもの。本年の地区目標でもある～ロータリーを楽しもう～をクラブに如何に落とし込んでいくか、細則の変

更も視野に入れて各クラブより良い楽しい例会を出来る様に、クラブ主導でやって頂きたい。トップダウンではなく、クラブに合った色々な形で進めてもらいたいと。また、会員増強についても貴重なお話をして頂きました。

鹿沼クラブメンバーとしても多くの学び、気付きとなる有意義で貴重なガバナー公式訪問となりました。県内全クラブを訪問するという過酷なガバナー公式訪問を笑顔で乗り切った市田ガバナーには尊敬と感謝を申し上げますと共に、鹿沼ロータリークラブへの今年度市田ガバナー公式訪問の活動報告とさせていただきます。ありがとうございました。





# EVENT REPORT No,01

2025年1月26日

ロータリー・リーダーシップ研究会

## RLI パートIII研修会

RLI委員会ファシリテーター委員長  
栃木ロータリークラブ

福富 正浩

2025年1月26日にニューイタヤにて、ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)パートIIIの研修会が行われ、今回2550地区のメンバー29名に参加していただきました。RLIは基本的にパートIからパートIIIまであり、今年度、第一回目としてパートIを8月25日に行った後、パートIIを10月13日に行い、パートIIIを今回1月26日に開催いたしました。そして、パートIからパートIIIまでの卒業生を対象に卒後コースまで、今年度中に行えればいいかと思っております。

また、今回で、パートIからIIIまで終了し卒業された方は22名いらっしゃいます。トータルでは当地区で110名の卒業生となっております。この卒業された方を中心として今年度6月7日に卒後コースを開催しようと考えて



えておりますので、卒業された方は是非ともご参加お願いいたします。

今回は、パートIIIということで、基本は、パートIとIIを終了した方が受けるコースとなっております。ですから、皆さん慣れてきておまして、また、知識もたくさん付いた方達の熱気のある議論となっております。ちなみに、今回、パートIIIから参加された方もおりますが、その方は、来年度パートIとIIを受講していただければ、卒業となるよう、RLIは、どこのコースからでも参加できます。

今回のパートIIIは、50分で一つのテーマをディスカッションしていただき、一日で6つのテーマを学習していただくので、一日6時間授業となります。皆さん、学生の時には、一



日で6時間受けていたかもしれませんが、卒業してからは、なかなか、丸一日かけて6時間授業を受けることはないのではと思います。そこでも、皆さん頑張って活発な意見交換ができていました。

本来RLIは、研修を行うことにより知識を得、また、他クラブの人たちとディスカッションを行うことにより、他のクラブでは、どのようなことを行っているのかを参考にでき、結果として各自が自クラブに戻り、その得た知識を使ってもらい、クラブを活性化することが目的となっております。

本日、まず最初のパートⅢを行ったわけですが、是非、皆様には、その後の卒後コースまで、研修を受けていただければ、ありがたいと思っております。RLIのディスカッションの方法としましては、講義形式ではなく、ファシリテーター(進行役)が各人に質問を投げかけ、それを答える形式で行います。そこでは、他のクラブの方々がおられますので、各クラブの違った運営の仕方を聞き、新しい発見をすることは、とても良い参考になると思いますし、一日受講すれば、たくさんのクラブの内容を聞くことになるわけですから、とても有意義な研修になっていると思います。



今回も、皆様が、他クラブの内容を聞いて有意義な情報を自クラブに持ち帰りクラブの活性化ができることと信じています。

今回、参加していただいた方におかれましては、一日研修を受けていただきまして、ありがとうございました。また、是非とも、まだ受講されていないメンバーの皆様には、RLI研修に積極的に参加していただくことをお願いし、同時に我々と一緒にファシリテーター(進行役)にも興味を持っていただけるとありがたいです。よろしくお願いいたします。





# EVENT REPORT No,02

2025年1月19日

## 地区職業奉仕セミナー報告

職業奉仕委員会 委員長  
宇都宮南ロータリークラブ 田中 正夫

2025年1月19日(日曜日)14時からベルヴィ宇都宮4階ヴァーグデリスにて、市田 登ガバナー、二十二 修ガバナーエレクト、高橋智純ガバナーノミニー、鈴木 宏パストガバナーをはじめ、各クラブ会長幹事及び職業奉仕委員長を中心とした80名以上の会員が参加して、地区職業奉仕セミナーが開催されました。

第一部は鈴木宏パストガバナーによる「私の職業サービス 一隅に照る」を演題としたご講演です。まず、全員で「ロータリーの目的」を唱和しました。その後、動画を活用した、内容の濃い、わかりやすいご講演を拝聴しました。

第二部は、各テーブルにて20分間のグループディスカッションが行われ、その後、各テ



ーブルから1名ずつ演壇に上がっていただき、どのような話が出たのかを発表していただきました。いろいろな意見、ユニークな意見が出まして、会場が盛り上がりました。

その後、市田登ガバナーのご感想をいただき、佐貫直通カウンセラーの講評をいただき、閉会となりました。







# EVENT REPORT No,03

2025年2月9日

## 第1グループIM開催報告

第1グループガバナー補佐  
黒磯ロータリークラブ 稲垣 政一

2025年2月9日、国際ロータリー第2550地区第1グループのインターシティーミーティング(IM)が、グランドメルキュール那須高原リゾート&スパで開催されました。本会には、第2550地区第1グループのロータリアンが集い、クラブ間の交流を深めるとともに、地域社会への貢献を誓い合いました。

本年度のIMには、次期ガバナー補佐の渡邊渉様、ガバナーノミニーの高橋智純様、RI2550地区パストガバナーの森本敬三様など、ロータリーの発展に尽力される方々が出席し、各クラブの活動を振り返るとともに、今後のさらなる発展について意見を交わしました。

式典は、国家斉唱およびロータリーソングの斉唱から始まり、ソングリーダーの石山桂子の指揮のもと、参加者全員が心を一つにしました。続いて、実行委員長の高木慶一による開会の辞が述べられ、黒磯RC会長の藤崎善隆による歓迎の挨拶、ガバナー補佐の稲垣政一によるスピーチが行われました。さらに、ガバナーノミニーの高橋智純様、パストガバナーの森本敬三様が来賓挨拶を行い、ロータリーの継続的な発展と社会貢献の重

要性を強調されました。その後、各クラブの会長が上半期の活動報告を行い、地域奉仕や社会貢献の成果を共有しました。

本会議のハイライトとして、ロータリー財団部門カウンセラー・財団委員長の森本敬三様が「ロータリーのビジョン声明とロータリー財団」をテーマに講演されました。森本様は、ロータリー財団の役割や世界規模の奉仕活動の重要性について解説し、会員の寄付がいかにか世界の課題解決に貢献しているかを熱く語られました。

IMの締めくくりとなる懇親会では、黒磯高校ブラスバンド部が演奏を披露し、華やかな雰囲気の中、参加者は親睦を深めました。今回のIMは、クラブ間の交流と協力を促進し、



地域社会への貢献活動を強化する貴重な機会となりました。今後もロータリーの理念を広め、次世代へとつなげていくことが期待されます。



## EVENT REPORT No,04

2025年2月16日

### 第5グループIM開催報告

第5グループガバナー補佐  
小山北ロータリークラブ 手束 公一

教育の力で未来を拓く！  
若者を応援する地域社会へ  
と題してインターシティーミーティングを行いました。  
うちのクラブに乗馬クラブを運営している会員がいましたのでホテルに無理言ってエントランスに馬で会員をお出迎えしました。  
記憶に残るIMになったと思います。  
記念講演には栃木県教育委員会教育長 阿久澤真理様をお迎えしまして「新しい時代における教育の方向性」と題してご講演いただ

きました。少子化にともなう公立高校の在り方や教育の変遷をお聞きして時代の変化に驚かされました。

共同事業として栃木県、小山市、ドナルドマクドナルドハウスに寄付金贈呈、NPO法人子供の育ちを支える会さくらネット小山（施設名おひさま）と同じくNPO法人ビリーブ（施設名シリウス）にそれぞれ子供用低学年用歯ブラシ300本高学年用320本を贈呈しました。本年度ガバナー補佐の自分が歯科医ですので施設の子供たちの歯を守る一





助になればと送りました。たまたま本年度から施行された歯と口腔の健康づくり推進条例の一部改正で新年度、県の事業にもこども食堂へ口腔衛生管理の支援が取り込まれタイムリーな事業となりました。

第5グループのクラブ紹介では社会奉仕、地域社会に貢献している事業を紹介し第5グループの会員が情報の共有をしました。どのクラブも継続的に行っている素晴らしい事業です。情報の共有することで興味のある事業には5クラブの会員が積極的に参加してもらえればと思います。

会員を増強して継続していかなければなりませんが高齢化社会の今、会員の自然減少は否めないと思います。昨年も残念ながら矢板ロータリークラブが終結しました。5年先か10年先か分かりませんが近い将来終



結や合併を余儀なくされると思われます。これからはIM以外にも5クラブで行う事業を増やし懇親を深める必要があると思います。アトラクションには元ロッセマリーズでプレーし日本代表にもなった栃木ゴールデンブレーブスの成瀬善久選手に講演していただき中学時代、高校時代のエピソードなど楽しく聞かせていただき、さらにGOLD LUSHのチアリーディングで盛り上げていただきました。

とても楽しい時間を過ごすことが出来まし



た。  
最後に御講演いただいた阿久澤教育長、成瀬選手、設営準備していただいた斎藤実行委員長、福地事務局長はじめ小山北ロータリークラブのメンバー、そして御参加頂いた第5グループの会員全員に感謝申し上げ報告といたします。





# EVENT REPORT No,05

2025年2月9日

## 第6グループIM開催報告

第6グループガバナー補佐  
栃木南ロータリークラブ 橋本 徳雄

国際ロータリー第2550地区第6グループインターシティミーティングは、ご来賓として、大川秀子 栃木市長様、壬生町町長 小菅一弥様をお迎えして、多くのローリアンの皆様のご出席を頂き、2月9日に開催いたしました。

国際ロータリーはその核となる「各クラブ」に年度の目標と実践を求めて、世界としてまとまった活動をしています。一方で各RCは地区の求める活動と共に、地域に根差した社会奉仕活動などをしており、その地元の集まりが「地区のグループ」であり、1年間の集大成として、活動の発表と勉強の場がIMと云えます。

RID国際ロータリー第2550地区の現状2550地区は栃木県全域です。クラブ数47RC会員



数約1533名が現在です。又、私達第6グループは、クラブ数5RC会員数135名で、栃木RC、西RC、岩舟RC、壬生RC、南RCからなります。歴史に差はありますが、それぞれに歴史と伝統を持って事業に取り組んでいます。少子化の流れの中で運営に厳しさが出ておりますが、各クラブ工夫して取り組んでいます



す。地元クラブの活動や、世界の状況に向かう志ある青少年の活動に耳を傾けて、このIMをお楽しみいただけたかと思います。

その後は、ロータリーの国際的な活動に目を向けてご活躍の飯村慎一様の記念講演で、「奉仕の理念による実践経営」をテーマにお話をいただきました。

実践経営；実際の経営に奉仕の理念がどの様に組み込まれているか？

皆様が垣間見る事が出来ました事と思います。奉仕の理念があって実践がある。その結果を慈善事業活動に反映する。その様な受け止めになるのでしょうか？

続いてインターアクトの活動報告等でIMは締め、懇親会となりました。

追記；IMに先立つ第1部として「新入会員セミナー」が開催されました。新会員オリエンテーション用の「今日からロータリアン」を配布頂くとともに、講師山口武夫様にお話を頂きました。





# EVENT REPORT No,06

2025年2月1日

## 第9グループIM開催報告

第9グループガバナー補佐 恩田 勉  
佐野東ロータリークラブ

2月1日(土)15時30分よりに佐野市の仙水閣に於きまして、佐野東ロータリークラブのホストにより、第9グループのIMが開催されました。当日は第9グループの4クラブ(佐野RC、葛生RC、田沼RC、佐野東RC)の会員と来賓の佐野市長 金子裕様、そして、三井福次郎パストガバナーにご臨席いただきました。更に1年交換留学生ウ・ユジュン君や米山記念奨学生アラバア・マホモウド君も含め、総勢、約100名で実施されました。

本会議後、佐野日本大学短期大学学長 小山祐三様による「導き出す」という演題で記念講演を行いました。

小山先生は日本の陸上競技界の重鎮であり、増田明美、室伏広治、北口榛花氏らの指導者、あるいはオリンピックや陸上世界選手



権の解説者、としても広く知られている方です。多くのアスリートを育成してきたことを基に、大変興味深い内容の話をしていただきました。

その後の懇親会では、地元のパフォーマンスミュージックユニットCielによる演奏を堪能していただきながら楽しいひと時を、多くの方に過ごしていただくことができました。最後に「手に手つないで」を全員で歌い、終演となりました。





# NEW MEMBER

## 新入会員



### 鹿沼東RC

ミツワ精機(有)  
代表取締役社長  
**吉田 純二**  
(よしだ じゅんじ) 2024.10.16入会

平和で暮らしやすい世の中になるよう努めて参りますのでよろしくお願いいたします。



### 今市きぬRC

(有)エネックスつるや  
代表取締役  
**添野 哲哉**  
(そえの てつや) 2025.1.7入会

よろしく申し上げます。



### 鹿沼東RC

レックスライン(株)  
代表取締役社長  
**鈴木 奈々**  
(すずき なな) 2025.1.8入会

日本を支える仕事をしています。出会い・学び、交流を深めていきたいです。



### 足利RC

(株)Protect home  
取締役社長  
**岩崎 俊彦**  
(いわさき としひこ) 2025.1.18入会

こういった会に入会するのは初めてですが諸先輩方に色々ご指導をいただきながら頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



### 真岡RC

アーテ(株)  
代表取締役  
**沼田 雄一**  
(ぬまた ゆういち) 2025.2.6入会

地域に貢献できるよう努力してまいります。よろしくお願いいたします。



### 栃木RC

(株)日本旅行 栃木支店  
支店長  
**三村 隆博**  
(みむら たかひろ) 2025.1.22入会

地域密着で皆様と共に歩み、地元愛あふれる活動を行って参ります。



### 足利RC

(株)LIFE  
代表取締役  
**松井 直樹**  
(まつい なおき) 2025.2.1入会

諸先輩方に色々教えて頂きたいとの思いで入会させて頂きました。



### 栃木RC

(有)印刷館こいけ  
代表取締役  
**仲渡 美香**  
(なかと みか) 2025.2.5入会

お役に立てられる様に努力して参ります。よろしくお願いいたします。

## 24-25年度 地区内主要行事

月	日・曜日	地区内	場 所
3	2 (日)	25-26年度地区チーム研修セミナー	ベルヴィ宇都宮
	9 (日)	青少年交換第3回オリエンテーション	とちぎ青少年センター
	15 (土)	佐野ロータリークラブ創立65周年記念式典	ホテルサンルート佐野
	16 (日)	第2グループIM	風月カントリークラブ
	23 (日)	青少年交換受入れクラブオリエンテーション	
	29 (土)	第7グループIM	古峯神社
	30 (日)	25-26年度PETS・SETS	ベルヴィ宇都宮
4	6 (日)	新規奨学生とそのカウンセラーの為のオリエンテーション	ホテルニューイタヤ
	19 (土)	下野上三川ロータリークラブ創立30周年記念式典	フォーシーズン静風
	19 (土)	鹿沼ロータリークラブ創立65周年 台湾・韓国姉妹クラブ歓迎会	東武ホテルグランデ
	20 (日)	鹿沼ロータリークラブ創立65周年記念式典	東武ホテルグランデ
	27 (日)	25-26年度地区研修・協議会	作新学院大学
	27 (日)	青少年交換第4回オリエンテーション	
5	8 (木)	25-26年度第5回ガバナー補佐研修	ベルヴィ宇都宮
6	7 (土)	RLI卒後コース	ホテルニューイタヤ
	12 (木)	25-26年度第6回ガバナー補佐研修	ベルヴィ宇都宮
	14 (土)	インターアクト第2回合同会議	ホテルニューイタヤ
	22 (日)	青少年交換第5回オリエンテーション	とちぎ青少年センター

### 国際ロータリー第2550地区1月会員数報告

分区	クラブ名	例回数	会 員 数							
			7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員
第1グループ	大田原	3	19	19	0	0	2	2	0	2
	黒 磯	3	33	33	0	0	0	0	0	3
	西那須野	3	43	44	0	0	2	1	1	3
	黒 羽	3	7	6	0	0	0	1	-1	0
	大田原中央	2	21	18	0	0	1	4	-3	1
第2グループ	烏 山	3	14	14	0	0	0	0	0	2
	氏 家	3	27	27	0	0	0	0	0	3
	馬頭小川	3	15	16	0	0	1	0	1	0
	高根沢	3	11	12	0	0	1	0	1	1
第3Aグループ	宇都宮	4	93	97	0	1	8	4	4	4
	宇都宮西	3	64	67	0	0	5	2	3	0
	宇都宮北	4	38	39	0	0	1	0	1	0
	宇都宮90	2	38	38	0	0	1	1	0	5
	宇都宮陽北	4	48	57	1	0	13	4	9	8
第3Bグループ	宇都宮東	3	102	100	1	0	2	4	-2	0
	宇都宮南	4	56	57	2	0	3	2	1	6
	宇都宮陽東	4	48	48	0	0	0	0	0	10
	宇都宮陽南	4	19	18	0	0	0	1	-1	5
	宇都宮さつき	3	23	23	0	1	1	1	0	4
第4グループ	真 岡	3	49	49	1	0	2	2	0	0
	益 子	4	32	34	0	0	3	1	2	3
	真岡西	4	38	39	1	0	1	0	1	5
	下野上三川	4	21	22	0	0	1	0	1	3
第5グループ	小 山	3	18	22	2	0	5	1	4	1
	小山南	4	15	16	0	0	1	0	1	2
	小山東	2	22	22	0	0	0	0	0	0
	小山北	4	24	26	0	0	2	0	2	0
	小山中央	2	23	24	0	0	1	0	1	2
第6グループ	栃 木	4	43	43	1	1	1	1	0	5
	栃木西	4	29	31	1	0	3	1	2	0
	岩 舟	2	8	9	1	0	1	0	1	0
	壬 生	3	16	15	0	0	0	1	-1	1
	栃木南	4	35	37	0	0	3	1	2	8
第7グループ	日 光	4	17	17	0	0	1	1	0	4
	鹿 沼	3	63	62	1	0	1	2	-1	2
	今 市	2	37	42	1	0	6	1	5	1
	鹿沼東	3	41	43	1	0	2	0	2	6
	鹿沼中央	2	11	11	0	0	0	0	0	1
	今市きぬ	2	26	26	1	0	2	2	0	0
第8グループ	足 利	2	20	23	1	0	4	1	3	2
	足利東	3	38	39	0	0	1	0	1	3
	足利西	2	10	12	1	0	2	0	2	0
	足利わたらせ	3	28	28	0	0	0	0	0	0
第9グループ	佐 野	2	47	48	0	1	2	1	1	0
	葛 生	4	39	39	0	0	0	0	0	0
	田 沼	4	43	43	0	2	3	3	0	0
	佐野東	2	21	21	0	0	0	0	0	2
	47RC		1533	1576	17	6	89	46	43	108



Rotary  
Region 1, 2 & 3



コーディネーター  
NEWS

2025年3月号 No.1

発行：Region 1, 2 & 3  
RC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC  
行動計画推進リーダー  
国際大会推進チーム

〇〇クラブとの違い？

### 第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 田中 久夫（高崎 RC）

皆さんは、誰かをロータリーに誘おうとしたとき、相手から必ず発せられる質問「ロータリークラブは〇〇クラブとどこが違うの？」にどのように答えていますか。「I serve と We serve の違いがあって…」、「職業奉仕(vocational service)の有無とか…」、「ロータリーはポリオ根絶に力を入れていて…」などと答えて相手の要領を得られると思っていませんか。それでその人が納得すればいいのですが、あまり勝率はよくないのかもしれない。

私も、両者の違いをどう説明すれば相手の腑に落ちるのかを常々考えていました。ところが昨年夏、ある地区のとあるクラブに招かれて卓話をする機会に、その会長さんとお話をしていて「これだ！」という逸話に出会ったのです。

その会長さんは、ロータリークラブに入る前に半年ほど〇〇クラブに入っていた経験があり、その時にある出来事に遭遇し〇〇クラブに嫌気がさして辞めたというのです。

会長さんが経験したのは…。

「在籍が僅か半年、〇〇クラブの会員たちとはそれほど親しくなっていない当時、ある古参の会員から一つの仕事(IT関係)を頼まれました。そこで見積りをしてその金額に了解を得てから仕事に取り組み、納期通りに完了したのです。その後その請求をしたところ、その会員からは『もう少し負けてくれないかな、〇〇クラブの友情に免じて頼むよ』と言われました」

「僕はそれを聞いて、その会員は通常の商取引のルールを無視し、僅か半年しか在籍していない者に友情を持ち出すという非常識、しかもそういった古参会員の存在を当たり前のように許してきた〇〇クラブのゆるい体質に失望したのです」

「僕はサッサとそのクラブを辞めて、以前から誘われていたロータリーに入り直しました。その後、ロータリーではそのような非礼に会ったことはありません。大変居心地がよく、いまでは会長にいただきました」

そうです。ロータリー会員は常識人の集まり。商行為のルールはキチンと守り、お互い納得した関係のなかでモノゴトが成立するのです。私も日頃、ロータリー会員に仕事をお願いするときに値切ろうなんてことは考えたこともありません。相手もコチラのことを良く考えてくれた末に金額が提示されているのだと信じています。だからロータリー、ロータリー会員とは安心してお付き合いできるのです。

公共イメージは、日頃のお付き合いの中で時間を掛けて醸成させていくものですが、それが崩れるのは一瞬です。孔子(『論語』「仁」の説明)の言葉に、「己の欲せざる所に人に施すことなかれ。さすれば近き者は悦び、遠き者は来たる」があります。人付き合いの真理だと思われまます。お互いロータリー会員として、ロータリーの公共イメージを大切にしましょう。





## 第2地域 恒久基金・大口寄付アドバイザー 福原 有一（東京銀座 RC）

皆さまこんにちは。第2地域の恒久基金・大口寄付アドバイザー(E/MGA)の福原有一です。第1地域の細川吉博E/MGAから9月のニュースでご案内申し上げた通り、私どもは恒久基金や大口寄付やAKSの目標達成に向け努力しています。24-25年の目標が「ロータリーのマジック」となるよう皆さまのご協力をお願いします。

年度も3月に入りましたので、中間の報告を申し上げます。まず、大口寄付、冠名基金、AKSの三分野については、大口寄付目標100件に対し59件(本年1月16日現在、昨年度実績は89件)、冠名基金目標各地区1件に対し10件(同15件)、AKS目標10件に対し3件(同6件)です。特に2025年は恒久基金2025として、RIが25年末までに20.25億ドルの世界目標を掲げています。達成状況は18.57億ドル(昨年10月末現在)です。



次にイベント報告ですが、昨年12月13日に第53回ロータリー研究会の付随行事として、メジャードナー顕彰午餐会／アーチ・クラブ・ソサエティ(AKS)式典がヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル「ボールルーム」において開催されました。当日は、メジャードナー・レベル4のみなさまの顕彰並びに3組のAKS新入会員及び昇進者へ認証状と花束が贈呈されました。(AKSは松田英郎様・尚美様ご夫妻(2500地区) 出村知佳子様(第2510地区) 藤林直美様(第2590地区))。

式典にはRI本部からアーチックRI会長やマローニーTRF管理委員長なども駆けつけて下さり、厳粛な中にもたいへん和やかな会でした。企画から実現に至るまでご協力いただいた地域役員の皆さまや財団室スタッフの方々には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

引き続き大口寄付、恒久基金、AKSの目標や恒久基金2025の達成に向け盛り上がりましょう。どうもありがとうございました。





### 第3地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 中野 均（堺東 RC）

平素は、ロータリークラブ会員の皆様には財団部門に対しご理解ご支援賜り有難く厚くお礼申し上げます。私、コーディネーター補佐を仰せつかり2年になります。初年度、諸々の行事を第3地域が担当で皆様に指導いただきながら無事終えることが出来ました。今年度上半期の行事について、財団担当地域リーダーの一人として微力ながら少しお手伝いさせていただきました。下半期の行事についても自身のスキルアップと考え、お手伝いに徹したいと思います。

さて、私の所属地区において財団委員長を補佐する立場で動いています。ロータリー財団の標語である「世界でよいことをしよう」をするため財団寄付のお願いを他地区同様にさせていただいていますが、前年比伸び悩んでいます。他の地域リーダーの皆様と意見交換の機会を得て良い方向に導きたく思う次第です。

次にガバナーエレクト・ガバナーノミニの皆様とはセミナーにおいて地域別セッション財団部門でファシリテートさせていただく機会があります。それぞれ地区内財団関係奉仕事業の把握に努めていただき共に楽しく過ごせる時間にしたく思いますのでご理解ご協力よろしくお願いします。

地域コーディネーター補佐として、地域コーディネーターの指導の下、自己研鑽に努め皆様方と共に歩んで行きたい、また担当地区へお邪魔させていただくことやお声がけくだされば馳せ参じる所存でございます。何卒よろしくお願い申し上げます。

結びに皆さま方の地区で「世界でよいことをしよう」に向けた奉仕活動にご期待申し上げます。





## コラム



ユネスコ無形文化遺産 国指定重要無形民俗文化財

## 鹿沼秋まつり彫刻屋台

### 今月の彫刻屋台：「下材木町」

この屋台の彫物は全面「竜」に統一され、しかも金竜であるがため、黒漆塗屋台に一段と光彩を放っている。

ただ竜の彫物のうち、懸魚(げぎょ)に隠れる琵琶板は緑主体の彩色であり、後ろ琵琶板は白竜である。

鬼板(おにいた)と懸魚の竜は上下相對し、脇障子の竜は金泥彩色に玉眼、鱗は青と緑に彩色され、黒雲・白浪の間に「上り竜・下り竜」を左右に彫り分け、その躍動するさまは当屋台の見どころになっている。

彫師は、脇障子や欄間彫物裏の銘によると、竜の彫物の第1人者である、富田宿(現大平町)の磯辺儀左衛門信秀4代目(凡龍齋)の作であり、天保3年(1832)の製作である。

同じ年に銀座一丁目の屋台も手がけている。

屋根は布張りで、屋根裏は朱塗である。

県・市の助成にて、平成5年に飾金具をとりつけ全面を塗り替えて一新した。

(昭和61年市指定有形文化財)



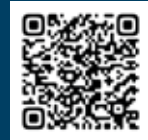
### 今月号表紙

#### 『江州屋』佐野市

江州屋(ごうしゅうや)は大正期創業の味噌醸造会社で、創業者一族の亀山家は近江出身で、近江井伊家直轄の領地であった佐野に入植し、江州屋を創業したとされる。店舗を除き、工場・住宅・門・煙突が残り、すべて大正時代につくられた。

#### 市田ガバナー公式Instagram

市田ガバナーの活動の様子など  
情報発信しています!  
ぜひフォローお願いします。



@GOVERNOR\_ICHIDA.2550

2025年3月1日

ガバナー月信編集チーム

【発行責任者】地区幹事 金子昭彦(鹿沼RC)

【メンバー】櫻井武彦・瀬谷一世・星野詠一

香川道雄・内野義忠・浅野知則 以上 鹿沼RC